

## 📷 4月定例会のご案内

### 「上河さんのワンランクアップ講座②」他

2月に引き続き、上河さんの「ワンランクアップ講座②」を開催します。

皆さんは撮影時にカメラのマーカーを使用しますか？ この機能を使うことでワンランクもツーランクもアップ間違いなしです、どんな内容が楽しみしてください！

次回定例会は

2022年4月15日（金）19時～21時

#### 勉強会のネタ（募集中です！）

- ・ビデオの事業継承・後継者について（赤岡）  
（会員個人の場合とビズネット全体の場合含めて）
- ・ホールを借りて音声収録（菅澤）
- ・ネット配信のやり方（赤岡）
- ・後悔しない機材の選び方（脇田）
- ・ICレコーダーの設定方法（脇田）
- ・スイッチングとパラ撮影（脇田）

## 👥 2・3月定例会のご報告

### 「勉強会」（2月上河さん、3月野上さん）

#### < 2月定例会 >

上河さんの「ワンランクアップ講座①」では、テロップやDVDジャケット内の「文字」の重要性についての解説でした。漫然と使用せず、サイズ、位置、ライン・ザブトンなど効果的に使用することで、グレードアップするということを実例をもとに説明していただきました。

#### < 3月定例会 >

野上さんの「DaVinci Resolve講座」では、Blackmagic Design社の紹介とそこから発売されている編集ソフトと機材についての解説と実演でした。「最初は、無我夢中で覚えた」という言葉が記憶に残りました。

#### < 2・3月の主な近況報告・意見交換 >

吉岡「3月に、直受けでは初めての吹奏楽のお客さんの撮影に臨みます。4Kカメラ5台の菅澤さん方式で行います」

高橋「3月の幼稚園卒園式では、コロナの影響で会場の雰囲気がなんとなくごちゃついていて、思い通りの撮影ができなかった」

近藤「納品したBlu-ray・DVDの映像に<声がか

れる>、<モザイクみたいになる>現象があった。マスターメディアが不良品だったことが原因のようです。」

高橋「防止方法としてアーカイブ用の機器を使用している」

高橋・近藤「コピー速度は、Blu-rayは4倍、DVDは6倍までにした方が良い。」

野上「2月3月に、多摩市×日野市の連携事業<たま学びテラス>にて「動画づくりのはじめの一步」講座の講師を務めました。

上河「去年の卒園式で、ライブ配信の影響からか売上が3分の1くらいなった。今年は配信しなかったからか売上がもどった」

以上敬称略 文責：脇田

## ✍️ 会員コラム

吉岡さん「よっしーの妄想が捗ります」

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

佐藤さん「色まわりの雑感」が続きます！

※すべての原稿は2月末にいただいたものです。

（文責各筆者）

# よっしーの 妄想が<sup>はかど</sup> 捗ります (1)

## 色味って合わないのかなあ？

※個人的な見解。半分くらいは合ってると思います。ご意見、ご指摘、お待ちしております。

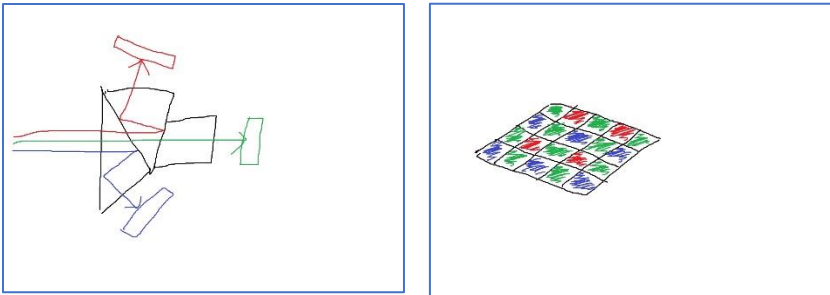
アソシネット株式会社 吉岡

2022年2月27日

ビデオカメラの色味って、同じメーカーの同じ機種なら合うけど、同じメーカーでも機種が違えば、何か違う。別のメーカーになると、だいぶ違和感がある。なんでこんなに合わないんだろう、ってモヤモヤすることない？

まずセンサーだと、3板式と単板式ってある。

ソニーだと、HVX-NX5R とかが3板式で、FDR-AX700 とかが単板式。



イメージセンサーってさ、色を感知するんじゃなくて、「明るさ(輝度)」を感知するから、センサーの前に、色を分けておく必要がある。3板式はプリズムで3色に分けるし、単板式(ベイヤー方式)はカラーフィルターで色を感知するピクセルを分ける。

3板式は、1ピクセルで白(すべての色)を表現できるけど、単板式は、複数ピクセル(3ピクセル?)なければ、白は表現できない。これだけでも、色味が合う気がしない。

あと、単板式は、図を見てもらうとわかるけど、緑がやたら多い。赤や青の倍くらいある。なんで緑が多いのかっていうと、人の目は緑に敏感だから、緑が多い方が、見た目に近いらしい。

方式も違う、センサーのサイズも違うってなると、色味を合わせるなんて絶望的じゃん。

ソニーだと、ピクチャプロファイルってのがある。他のメーカーもあるんだよね、きっと。ITU-BT709とかさ。下のリンクを見ても、いや、ちょっと難しいな、これは(汗)

【リンク】 [クリエイターズヘルプガイド](#)

【リンク】 [デジタル映画のカラーマネージメント](#)

【リンク】 [デジタルカメラの階調特性と色空間](#)

BT709 っていうのは、sRGB と だいたい同義なのか。sRGB っていうよく聞くな。

ソニーの色空間というと、トリルミナスっていうのがある。ソニーのテレビの仕様を見ても、トリルミナスって言葉は出てくる。トリルミナスって、xvYCC 準拠の色空間(x.v.Color)ってことらしいが。

検索してみると、

「xvYCC の特徴は、HDTV で利用する ITU-R BT.709 の色域(sRGB と同等)との互換性を確保しながら、色空間を広げたこと。」

うん、よくわからん。禅問答をしてるようだ。

テレビが対応してるってことは、きっとソニーのビデオも対応してるんだろう。じゃないと、色が合わないもんなあ。

HVX-NX5R の設定を見てみると・・・？ あー、あるある、x.v.Color の設定。オンにすると、ピクチャプロファイルは無効になるのか。へー。

ピクチャプロファイルにも、x.v.Color の項目はある。

| GAMMA         |                               |
|---------------|-------------------------------|
| ガンマカーブを選ぶ。    |                               |
| 設定項目          | 調節する内容                        |
| [STANDARD]    | 標準のガンマカーブ。                    |
| [CINEMATONE1] | フィルム撮影した映像のようなトーン of ガンマカーブ1。 |
| [CINEMATONE2] | フィルム撮影した映像のようなトーン of ガンマカーブ2。 |
| [ITU709]      | ITU-709 相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5 |
| [G5.0]        | 低輝度部ゲイン:5.0 のガンマカーブ。          |
| [PD]          | DSR-PD シリーズに似たトーン of ガンマカーブ。  |
| [x.v.]        | x.v.Color と同様のガンマカーブ。         |

**x.v.Color**

[ON] ((COLOR)) に設定して撮影すると、より広い色域で記録できます(お買い上げ時の設定は [OFF])。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを再現することが可能になります。

● ご注意

- [ON] にして撮影した画像を x.v.Color に非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき [x.v.Color] は設定できません。
  - メモリーカードとフラッシュメモリーユニットの一方でも標準画質 (SD) に設定しているとき
  - 動画を撮影中
- [x.v.Color] が [ON] のとき、ピクチャプロファイルは無効になります。

FDR-AX700 はどうか・・・。

AX700 は、x.v.Color の記述は ないのか。その代わり(?)、ピクチャプロファイルに、BT2020 が追加されてる。新しい色空間の規格だ。

※「[BT.2020] のカラーモードで撮影した場合は色も薄く表示されます。」と書いてある。超注意だね。

いろいろあるけどさ、上のリンクの資料にも書いてあるけど、

「あくまでも色再現が理想的に(理論どおりに)行われた場合のこと・・・」

結局、色味って、合わないんじゃない？

## 西湘のビデオ屋稼業

2022.3月 高橋 昌一  
(含むことあり：個人的、感覚的話し)

R4年度からは、吉岡さんを新会長として体制をリニューアル。

早速、吉岡さんからは、短時間の間にあれこれと新しいアプローチの提示がありまして、これからの楽しみが一層増してきています。

さて、コロナ禍の影響で撮影日も、ずれにずれて、R4年の初撮影は2/26、音楽会のホール撮影でした。そのホール、去年は使用不可となってしまう、2年ぶりの現場です。当方も主催者もしっかりと来るまで、「多少まごつくのは仕方のないこと」と、割り切って仕込みにあたりました。

翌日、いざ本番。この現場、毎年、プログラムの中に長尺の合唱が組み込まれているのです。今回も合唱2曲続けて9分弱をキッチリと歌いあげてきました。その歌声が、聴いている観客のみならず、歌い手の心にも徐々に染み入るのが伝わってきます。毎回、歌の力を目の当たりにしながら撮影している幼稚園です。

いよいよ卒園式シーズンの3月突入です。

コロナ禍で、2年前からほどこも短縮バージョン卒園式のみになり、謝恩会は中止状態です。

そこでせめてもと、サービスマニュー的に、園児の日常の何気ない様子を追加撮影して、ビデオに収めていました。今回もしっかりです。

3/1の今日、手持ちハンディカムで、ある保育園の保育室やら園庭やらに、撮影に行ってきました。

この撮影でいつも決めていることはただ一つ。とにかく日常の様子をできるだけ「素に切り取りたい」ゆえ、園児には可能な限りカメラを無視してもらうことです。

一見難しそうな注文に見えるかもしれませんが、子供たちの能力には侮れないものがありまして、けっこう気にしないでいてくれます。究極をいえば「気にしないフリ」なのですが、撮影を続けているうちに、他の興味あることを見つけ出して、やがてカメラなんか気にしていられなくなり、いつもの日常行動が増えてくるように見受けられます。

その「素（に近い）」の映像の評判は好評のようです。

## 色まわりの雑感

吉岡さんに刺激されて浅い知識ですが書かせていただきます。

同じメーカーの同じ機種のカメラでも、CMOSセンサーの個体差、ズームレンズの焦点距離の違い。撮影する角度、場所の違いなどにより色が変わります。ビデオも写真も同じのように思います。

私の場合の写真は全てRAWのみです。JPEGが昔より良くなったとはいえ、料理に例えると私には味が濃いのです。JPEG画像は調整すればするほどデータは劣化します。映像においてもJPEGとRec709は同じと考えます。そういう意味で色についてはRec709撮影では現場で完成色を作る意識が大事なのだと思います。編集時は微調整にとどめたいところです。

スチールから映像に来た人は動画撮影もRAWで撮る考えは自然です。RAWの良さを知っているからです。だからと言って自分が今、動画をRAWで撮影しているわけではありません。

これからです。今は、Log撮影で全て撮影しています。

色乗せは編集時になります。Rec709だと、例えば背景に雲があった場合、最初から描写を期待してはいませんがLog撮影では雲が雲として写っているのです。感動です。Rec709が良くないのでなく「Rec709・Log・RAW」を使い分けることが大事だとネットでいっていました。

今、予約をしているカメラ(CANON EOS R5 C)はRAW撮影の勉強始めとして購入を決めました。かなりの人気機種でメーカーの話だと今年の11月までオーダーが入っているとのこと。

<ネットで学んで分かったこと>

- ① カラーコレクション      ノーマライズ(自然の色に戻す。)
- ② カラーグレーディング      ルック・部分的な色や明るさの調整など

ダヴィンチディゾルブが人気なのは部分的な調整が図形ガイドや色域で特定箇所を選択できることが一つあると思います。

先日、Log撮影した素材でも赤の発色が強かったので、プレミアプロのペンツールでマスクを作って部分的に彩度を下げることが出来たのはうれしかったです。皆さんは当たり前ですか。

映像も写真と同じで全体を整え、部分的な調整をして自分のゴールにたどり着くことだと最近手ごたえを感じるようになりました。